



「思い出の時間」

富士山の
すそのの広さを
左手にのぞみ
太平洋の
波の背の輝きを
右手に見て
住宅がビルに
変わっていくことで
東京はもうすぐ
そこと感じた
品川駅を越えれば
線路沿いは
ビル群となり
東京の地に着く

班活動で
仲間と歩いた東京
伝統と現在が
調和をとって混在し
その両方に触れ
共に学んだ

生徒も教師も
笑顔があふれ
楽しい時間に
満たされていた
帰ってきた君は
こう言った
『もう一度
この仲間
一緒に
行きたい』と
振り返ってみれば
遠く思えてしまう
この三日間は
過去の記憶
でも
美しく輝く
思い出の時間



3年 修学旅行 6月11日～13日

